

## 会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和3年度第4回みよし市地域包括ケア推進会議		
開催日時	令和4年2月28日(月)午後1時30分から2時30分まで		
開催場所	みよし市役所 3階301会議室又はオンライン		
出席者	<p><b>【出席者】</b> 翠健一郎、川崎奈津、竹下裕子、深田明男、朝岡昌史、梅川小夜子、三輪智之、石田愛子、糊澤愛子、近藤理恵</p> <p><b>【みよし市民病院】</b> 成瀬事業管理者、山本リハビリテーション課長</p> <p><b>【事務局】</b> (長寿介護課) 浅井課長、深谷主幹、橋本副主幹、近藤副主任、七里主事 (保険年金課) 石田課長 (健康推進課) 二子石課長</p>		
次回開催予定日	令和4年5月(予定)		
問合せ先	福祉部 長寿介護課 担当人名 近藤、七里 電話番号 0561-32-8009 ファクシミリ番号 0561-34-3388 メールアドレス <a href="mailto:choju@city.aichi-miyoshi.lg.jp">choju@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">議事録要約</span></li> </ul>	要約した理由	別途議事録作成
審議経過	(1) 在宅医療・介護連携対応施策作業部会について		

<p>&lt;会議録&gt; 事務局</p>	<p>定刻になりましたので始めたいと思います。令和3年度第4回地域包括ケア推進会議を開始します。最初に長寿介護課長の浅井よりあいさつ申し上げます。</p>
<p>長寿介護課長</p>	<p>皆様こんにちは。長寿介護課長の浅井です。本日はお忙しい中第4回地域包括ケア推進会議の方に御参加いただきましてありがとうございます。本日は在宅医療介護連携推進事業進捗管理について協議させていただきます。限られた短い時間ではありますがよろしくお願いたします。今年度の最後の会議になります、1年間ありがとうございました。また来年度につきましてもよろしくお願いたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、いつものように長寿介護課近藤が進行を務めたいと思います。よろしくお願いたします。すいません、資料の送付がいつもより遅くなってしまい、先週ギリギリに送っております。大変申し訳ございません。</p> <p>さて、本日の議題は、次第に沿いまして、在宅医療介護連携推進事業進捗管理について、お時間を取りたいのと、(3)としまして次年度の日程をお示ししたいと思っております。あとは次年度以降の会議のあり方について、オンラインで行っていますが、オンラインでの手法や、そもそも年4回開催している会議の議題の出し方等々、「もう少しこうしてほしい」というような意見を集約して、次年度以降改善につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>では、まず協議事項の(1)在宅医療・介護連携対応施策作業部会について長寿介護課七里から説明させていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さんこんにちは。長寿介護課七里です。では在宅医療介護連携推進事業進捗管理についてお話をさせていただきます。今回令和3年度の活動について実績を報告させていただきます。お手元に資料1の在宅医療・介護連携推進の取組進捗管理表をお出しただいてよろしいでしょうか。まず項目で言いますと「日常の療養支援」に当たりますが「クリニックとの関わり」ということで、令和3年度は内科のクリニックの訪問リストを整えまして、訪問を予定していましたが、コロナのワクチン接種の開始と重なってしまったので、医師の負担も大きかと思ひ、このクリニック訪問は延期とさせていただきます。ただ新規で開院された、みよしかめいクリニックにみよし市と地域包括支援センターで訪問させていただきます。地域包括支援センターについて情報を提供させていただきました。内科のクリニックの訪問が延期になりましたが、その下のクリニック以</p>

外との関わりということで、市内の調剤薬局に御協力いただき、19施設について事前に日程調整した上で訪問をさせていただきました。ここでは調剤薬局が普段どういうところで活動しているかと意見をいただいたと報告を受けております。ありがとうございます。

続きましての項目は「入退院支援」になります。入退院支援につきましては、豊田厚生病院とみよし市内の地域包括支援センターが、お互いの業務について質疑を交えた意見交換を行いました。また更なる連携を図ることを目的としまして、令和2年2月4日にオンラインで交流会を開催しました。この交流会には豊田厚生病院の病棟の看護師、在宅支援のコーディネーター、医療ソーシャルワーカー等の多数の病院関係者の御参加いただき、意見交換をすることができました。また、豊田加茂医師会以外の病院を追加した「みよし市版入退院窓口一覧」を作成しました。

続きまして「急変時の対応」につきましては、消防との連携が必要となり、現在、愛知県が調整しておりますので割愛させていただきます。裏面に移ります。

続きまして「看取り」についてです。今年度、人生会議の普及啓発を行いました。この普及啓発につきましては、豊田市及び豊田加茂医師会の在宅相談ステーションと普及啓発について協議を継続して行い、実施をしました。また広報みよしの11月号で特集ページを掲載した他、サンライブ中央図書館で特設コーナーを特設しました。広報を見た市民から、「両親はまだ元気だけど、ACPを考えるきっかけとして話題にしてみようと思った。」「人生会議の見開きが目を引いて良かった。」と感想があり、この広報をきっかけに人生会議というのを考えていただくことができました。

続きまして、豊田市と合同で民生児童委員向けの研修会を令和4年1月13日に企画しましたが、残念ながらまん延等防止措置が発出されたため、中止となりました。事前に令和3年10月27日に民生委員向けの勉強会を開催して、人生会議の周知を図りました。令和4年度につきましても、豊田市、豊田加茂医師会在宅相談ステーションと連携し、人生会議の普及啓発を図る予定としています。

続きまして「全てに関わること」とししまして、「在宅医療介護の統計」について、令和3年度は豊田市と一緒に豊田警察署から死亡統計データを、みよし市は衣浦東部保健所から、死亡小票のデータを平成31年度、令和2年度の2年度分収集し、分析を行いました。また「在宅相談ステーションとの関わり」については、地域包括支援センターやケアマネ向けに研修会を企画しましたが、緊急事態宣言の発出により延期としました。令和4年度に再度調整して開催する予定です。

在宅医療サポートセンター事業としましては、令和3年12月4日に多職種合同ブロック研修会を豊田市と合同で開催しました。ま

た、地域包括支援センターが調整し、認知症カフェにおいて在宅相談ステーションの職員が講師となり、人生会議についての出前講座を行いました。令和4年度につきましては、現在の取組を継続しつつ、新たなこととしては「みよし市版エンディングノート」の作成を予定しています。また、医療介護の連携の関係機関が抱えている課題を抽出するために、ヒアリング等を実施予定しています。報告は以上になります。

ここから少し皆さんの業種と言いますか、普段働いているところで、「意思決定支援」について何か取組をしているかどうかということ、情報共有をさせていただきたいと思います。こちらから指名させていただきますので、もし取組みがあればお答えいただけたらと思います。まず障がい者支援としまして、わらび福祉園深田さんをお願いします。よろしくお願いします。

深田氏

障がい支援分野のくくりとしましては、まず我々相談支援専門員がサービスを使う場合に、「サービス利用計画」というものを作成させていただいております。それに関しては、新規のケースがあがってきた時には、本人の意思・意向がしっかり反映されているかというところを見させていただいております。特段会議等を設けている訳ではありませんが、みよし塾（相談員の勉強会）、月1回の事例検討会に各相談員が持っている事例を深めていくということをさせていただいております。みよし塾に関しては昨年度に「意思決定支援」の勉強会をやらせていただいて、今は次の段階の「チーム連携支援」というところをやらせていただいております。「意思決定支援」に関しては、引き続き皆さん、しっかりおさえていると思います。事例検討会は、各事例においてその事例を深めていく際に、しっかりと本人の意思決定がなされているかを、全体で共有とまた指摘をしていくという形を設けています。我々は基幹相談センターなので、普段、相談支援専門員が日替わりでセンターに勤務されていますが、その際にケースを担当されている方の聞き取りをさせていただいて、その中でしっかりと本人だとか家族の意思が反映されているのかどうか、意思決定支援に向けてしっかりとされているのかの確認等も併せてさせていただいております。以上です。

事務局

ありがとうございます。深田さん、追加で伺えたらと思います。障がいのある方の意思の表出というか、なかなかくみ取るのは難しい部分もあるかと思いますが、そういった時に皆さん気を付けていらっしゃると思いますが、本人の気持ちをうまくくみとる工夫はありますか。

深田委員

まず子どもに関しては、どうしても母親の意向が強くなってきてしまう傾向があります。そこは本人＋保護者が主体になると

	<p>思います。あと大人に関しては、我々皆さん思っていますが、何らかの方法で本人は意思を出せない方はいないと思っていて、それが例えば言葉という方法という方は当然ですけど、言葉以外の方法、行動で見せたりだとか、体の動きだとか、目の動きだとか、口の動き等のそういったところをしっかりと普段日常から把握していくことが大事なのかなと思っています。それがなされていくとおのずと何かそういった意思決定支援をしなくてはいけない時に、意思決定に繋がっていくと思います。この方は言葉ではないので自分の意思がないのではなくて、しっかりどこか何らかの形で意思を出されることは間違いなくあるので、そこを我々が意識していくことが大事なのかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。言葉が話せない時の意思決定をどうやってやっていくのかと思っていましたが、体の動きだとか、普段御本人に動きをしっかりと見ていくことが大切だということがわかりました。</p>
深田氏	<p>絵カードとか、今だとタブレットで映像を見せたりだとか、そういった時の表情だとかも大事なのかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。日頃から御本人のことを一生懸命見ていただけているんだなと感じました。</p> <p>次にみよし市民病院の山本課長お願いします。病院で意思決定等で取り組んでいることがあったら教えてください。成瀬事業管理者がお話されますか。お願いします。</p>
成瀬事業管理者	<p>1点は「RINKED」という病院の広報誌があるんですが、そこに先月 ACP について1コマ記事を出しました。いずれ在宅医療の啓蒙リーフレット、パンフレットを作る予定なんですが、そこにも ACP の話を入れるつもりで、もう原稿は準備しています。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。追加で伺いたいです。入院されている患者や外来の患者の治療方針であったりとか、何か意思決定についてお話する機会をどのように持たれているのか、少し情報をいただいでよろしいでしょうか。</p>
成瀬事業管理者	<p>それについては、私の場合は日々の外来でどうしたいかということ、何かの機会がありましたら、全部お話してそれをカルテに残しておくようにしています。患者にはそういった話をしたことを、「帰ったら御家族に相談しておいてね」という形で、一步一步進めています。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。せつくなので山本課長もどうですか。リハビリの中で御本人の意見を聞かれる場合は、どういう感じで担当医に伝えているのかとかありますでしょうか。</p>
山本課長	<p>リハビリの中では、課題として上がっていますが、まだみんなで検討していることはありません。次年度の課題として取り組んでいきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。続きまして安立荘の朝岡さんいかがでしょうか。先ほどの深田さんの話ではないですが、認知症になってみえてなかなか意見が言えない方もいらっしゃると思いますが、施設の中で認知症以外でも介護度が高い方も大勢いらっしゃると思います。どのように本人の気持ちをくみ取られるのか、少し普段やられていることを教えていただけたらと思います。</p>
朝岡氏	<p>施設に入られる方ですと、どうしても認知症があったり、重度の障がいがあって、なかなか御自身から聞き出すのは非常に難しい状態ではあります。私は入退所のところに関わらせていただいています、もちろん入所の段階でなるべくこの方がどういう人生を歩んでこられたのか、どういった意向を持っているのかを家族から聞き出し、それを情報としてあげるようにしています。もちろん入所してからも家族に協力を得ないといけないので、そういったところで意向を、その方の考えに近いだろうなという感じをもって対応しているのが現状です。本来なら御本人から「こうしたい」「ああしたい」ということを聞いて、それを話せなくなった時や認知症になった時に活かせるようにしておいた方がいいのかなと思いますが、なかなかそこまで聞き出せる家族もないのが現状です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。少し途中で電波が切れてしまったので申し訳ないです。今のお話ですとなかなかどちらかと言うと、御家族からのしっかりと御本人がどう思っていたのかを、入所のタイミングと状態変化のあった時に確認しながら、普段の支援を進めているということでもよかったでしょうか。</p>
朝岡氏	<p>はいそうです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。あと地域包括支援センターの立ち位置として、きたよし地域の石田さん。普段からケアプラン等で御本人の御意向を聞かれたりすると思いますが、意思決定する中で少し難し時、「こういう時は本人の意見が聞きにくい」という時は、どんな場合がありますか。</p>

石田氏	<p>家族と本人の意見が分かれるということは時々あり、意外と家族が強く主張されると、なかなか本人の意向だけで進めていくことが難しいのかなと思います。なので本人の意向を踏まえた上で、家族の方に上手に進めていく必要があるのかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。そうですね地域包括支援センターですと、家族同席の中でお話をされる場面もあると思うので、なかなか本人の思うような支援が受けられない可能性があるのかなということですね。ありがとうございます。次にエムハート薬局川崎さん、いいでしょうか。訪問に出られると思いますが、訪問で本人の気持ちを聞くようなことはありますでしょうか。</p>
川崎氏	<p>話ができる方であれば何うこともありますけれど、月1回訪問しているだけだと本人の意思とかは正直わかりかねるところが多いです。なるべく声掛けして「どうですか」というお話をしますけれど、正直現状では難しいのかなという感じはあります。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。どうしても今の訪問の仕組みというか、決められた回数の中で本人の意思まで聞くのは難しいのかなという話ですね。</p>
川崎氏	<p>そうですね。</p>
事務局	<p>例えば本人と世間話をしながら、本人から頂いた情報を、例えば地域包括支援センターやケアマネージャーに何か報告書みたいな形で情報提供する、医師もそうですけれど。どのような形情報共有をされるんですか。</p>
川崎氏	<p>基本的には主治医と入っている介護事業所に必要な情報は送っています。正直本人は話さない人が多いので、本人からのお話があれば書きますが、大体は家族からの情報を伝えることが多いです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。歯科衛生士会竹下さんもお願います。訪問の時に本人、家族からお話は聞かれたり、それをどういう感じに伝える、例えばプランナーと情報共有していくかという方法について教えていただければと思っています。</p>
竹下氏	<p>特に衛生士会からは ACP に対してまだ何も活動していない状態で、私個人で訪問しているところは、ほぼほぼ本人とは意思疎通はできない状態の方が多いので、家族と話をする形になっていきます。先日もあったんですけど、胃ろうにするかしなか、食事が摂れるのかというところで、今後どういう感じに利用者が生きていき</p>

事務局	<p>たいかを、家族に「ACP というのがあるので、一度ネットで見てください。」という感じに情報を流させていただいています。</p> <p>ありがとうございました。訪問に行った時に胃ろうをどうするか、今後の栄養についての話も出るということで、私も初めて知りました。教えていただいて非常に良かったです。ありがとうございます。</p> <p>翠先生、聞こえていますか。途中までお話させていただいてまして、今年度の医療介護連携作業部会の取組内容について、状況報告、実績報告をさせていただきました。あと皆さんの団体で意思決定支援をどう行っているのか、取組があるのか等のお話を伺っていました。豊田加茂医師会として意思決定支援に力を入れていることだとは思いますが、何か会として継続的に行っていこうということはあるでしょうか。</p>
翠氏	<p>医師会としてですか。医師会としては加藤副会長を中心にいろんな勉強会等をやっていると思います。個人としては何もやっていない。豊田加茂医師会として勉強会はやっています。</p>
事務局	<p>翠先生は、診療の時に患者の意思決定支援はどのように行われていますか。お話を本人や家族から聞きながらという形でしょうか。</p>
翠氏	<p>何の意思決定支援ですか。</p>
事務局	<p>本人の今後の、例えば治療について、療養場所について等のお話は、なかなか短い時間ではされないですか。</p>
翠氏	<p>外来ではしないです。そういうのに直面した方には言うかもしれないけど。それは特別な時間を取って話をすると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。まだ伺っていない方もいらっしゃいますが、貴重な御意見ありがとうございました。次年度先ほどの話のとおり、みよし市版のエンディングノートを作成していければと考えております。また作成に当たっては、皆さまの御意見をいただいて、追加で情報をいただいたり、活用の部分で皆さまのお力をお借りすることも多々あるかと思えます。この推進会議で報告ができればと思っていますので、よろしくお願ひします。以上になります。</p>
事務局	<p>では続きまして「3 その他」に移っていきたいと思います。資料の2を御覧ください。こちらが今年度までのルールに基づいて5月、8月、11月、2月の第4月曜日 午後の1時半から2時半ということで、この会議を立ち上げた当初から日程を組んで開催して</p>



	<p>おりますので、そのルールで作成した日程案になります。こちらにつきまして資料送付を行ったところ、月曜日という日程が休み明けであることもあってバタバタするので、曜日の変更も検討ができませんかという意見を頂きました。ただ平成27年からこの会議を行っていますが、毎年このスケジュールでやっているのも、もしかすると多くの方が月曜日の午後というスケジュールに合わせてくださっている方のいるのではないかと思いますので、急に変わりますという前提ではなくて、曜日とか時間について御意見を頂きたいと思います。「今のスケジュールでいいです。」「実はこの曜日の方がやりやすい」とか、そういう意見を頂きたいと思っております。地域包括支援センターだとか、生活支援のコーディネーターだと自由がきくと思いますので意見は求めません。それ以外の方に順次、意見を頂きたいと思います。画面の上から順番に聞きます。まず深田さんどうですか。</p>
深田氏	<p>障がい担当としましては、この後の時間帯午後3時から基幹会議が入っています。なので午後は相談員が皆さん空いているので、この時間が出やすいかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。では続きましては薬剤師川崎さんお願いします。</p>
川崎氏	<p>時間はこの時間で大丈夫です。曜日は、月曜日は正直バタついていますが、もう決まっているということであれば空けるので、それでいいです。私がこのまま参加するのであれば時間が何時でも都合はつきますが、もし他の曜日になると、担当が変わり、参加できない方もいるかもしれないので、逆に月曜日の方が誰でも参加できると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ちなみに薬剤師会は2年に1回か1年に回のペースで交代されていますけれど、そのような話は出ていますか。</p>
川崎氏	<p>何も聞いていないので、何事も無ければ多分来年も私かなと思っています。</p>
事務局	<p>過去を振り返ると、大体2年に1交代られていると思うので、また変更があれば教えてください。続きまして朝岡さんは、いかがでしょうか。</p>
朝岡氏	<p>予定どおり、第4月曜のこの時間で大丈夫です。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。続きまして、歯科衛生士会の竹下さんどうですか。</p>
竹下氏	<p>歯科衛生士会もこの日と言ってあるので、もし誰かに変わったとしても大丈夫だと思います。</p>
事務局	<p>わかりました。ありがとうございます。医師会の翠先生いかがでしょうか。</p>
翠氏	<p>自分は他の曜日は不可能です。月曜日ですら、いっぱいいっぱいです。希望を言えば午後2時からにしてほしいです。午後2時からでもきついですけれど、午後2時からだったら出席できるかな。WEBの方がうれしいです。WEBだと訪問診察へ行った途中に参加できますから。途中からですが。そういう状況です。午後1時半だと遅れて参加することはできますが、最初からは難しいです。特に今はコロナの関係で発熱外来があるので診療が終わるのが遅くなってしまいますので。コロナが収まればいいと思います。</p>
事務局	<p>わかりました。先ほどの日程変更をしてほしいと言われたのが、本日欠席の連絡いただいている中島先生なんです。中島先生も午後の1時半は少し早いという御意見をいただいているので、その辺を含めて検討をしたいと思います。最後に市民病院はいかがですか。</p>
山本課長	<p>この時間で大丈夫です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。逆の午後2時から午後3時になると、支障がありそうですか。</p>
山本課長	<p>大丈夫そうです。</p>
事務局	<p>わかりました。ありがとうございます。日程は確定させた方がいいと思うので、月曜日から変更するのは、難しそうなので、月曜日の午後の時間でやるのは決定にしたいと思います。本日お示ししました日付で、例年通り5月、8月、11月、2月の第4月曜日の午後という形で開催したいと思います。時間については部屋等を調整しますので、改めて連絡させていただきます。本日欠席の田代先生や宇田先生にも診療の関係があると思いますので、意見をこちらでお聞きしまして、最終的にどの時間で開催するかということをお示ししたいと思います。日程についてはこの（資料2）日程で、時間は保留ということにさせていただきます。深田さん、午後3時に終了ならば大丈夫ですか。</p>

深田氏	午後 3 時から次の会議になりますので、午後 3 時に終われば大丈夫です。
事務局	わかりました。ありがとうございました。引き続き翠先生から WEB がいいということでしたが、次年度以降もコロナのことを見据えて基本的には WEB 形式でいこうと思っています。昨年までは来年どうなるかわからないのでそのとき判断するというようにしていましたが、ここは割り切って来年度は、基本的には WEB でいこうと思っています。WEB で行うに当たって、若干不慣れなこともあって 1 年過ごしてきていますが、もう少し WEB で行うときに、「こうしてほしい」とかの希望があれば、それも来年度に向けて改善していきたいと思いますが、この辺りはいかがでしょうか。これは全員の方にお聞きしてもいいと思いますが、御意見のある方はいらっしゃいますか。特段意見がなければ、指名した時に、「特に意見はありません」と言っただけでいいと思います。これも順次当てさせていただきます。市民病院はいかがでしょうか。WEB 形式の御意見があれば。
山本課長	特に問題はありません。
事務局	わかりました。ありがとうございます。翠先生どうでしょうか。
翠氏	資料はプリントアウトして送ってもらえると嬉しいです。忘れてしまうので。医師会に持って行く時に必要なもので。
事務局	わかりました。会場に民生委員の梅川さんとみなよし包括の近藤主幹がお見えなので、お二人いかがでしょうか。
近藤氏	みなよし包括の近藤です。WEB に関してはいいと思いますが、時々固まることが多いので、内容によっては会議室で出席したいと思っています。資料は事前にもう少し早く出していただければもう少し検討ができると思います。
梅川氏	民生委員の梅川です。WEB に関してはいいと思います。自宅では少しできないので、こちらの会場にお邪魔させていただきます。
事務局	ありがとうございます。基本的にはハイブリットの形になりますので、もしオンライン環境に不都合のある方は、会場にお越しただければ、一応会場だと PC の画面だけではなくて、モニターに映して皆さんの顔が見える形で参加いただける工夫はしておりますので、もしお見えになる場合は、お見えになるよと一言言っただけると、こちらで人数等を調整しながら整えますので、オンライ

	<p>ン環境がどうしてもという場合はそういった対応もできますので、お願いします。続きまして歯科衛生士会 竹下さんおねがいします。</p>
竹下氏	<p>オンラインでも大丈夫です。あと次年度違う方になる場合は何時までにお伝えすればいいですか。</p>
事務局	<p>3月の中頃までに、20日前後までにわかればありがたいです。特に何日までにわからないといけないというのはありません。3月までにわかれば、こちらとしては助かります。</p>
竹下氏	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。続いて朝岡さんはいかですか。</p>
朝岡氏	<p>このままの形式で大丈夫です。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。では川崎さん、お願いします。</p>
川崎氏	<p>このままの方が参加しやすいのでありがたいです。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。深田さんお願いします。</p>
深田氏	<p>2時から3時までとするならば、逆にこの形でないとこの後の会議に移動ができないので、リモートで参加できるといいのかなと思います。先ほど皆さんが意思決定支援について意見を述べられたと思いますが、何かスプレッドシートみたいな形で画面共有して、横でどなたかが言っていた意見を打っていただいて、それを画面で共有していけると、そうすると皆さんの意見がその場で共有できるから、それを最後エクセルか何かで落とさせていただいたものをチャットで流していただくと、折角意見を皆さんが述べたので、「こういうかたちでやっているんだな」というのが共有しやすくなるのかなと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ちなみに障がい分野のこういうオンラインの会議だとそういうのが標準ですか。</p>
深田氏	<p>必ず画面共有して、誰かがファシリをされる方の横にもう1人いらして、会議体の際は必ず打ちながら画面に皆さんの意見を出していくと、それを見ながら最後にまとめていくとまとめがしやすいのかなと思ってやらせていただいております。</p>

事務局	わかりました。今度、七里と共にそのやり方を教わりに行きたい と思います。また教えてください。
深田氏	そうすると最後にまとめもしやすいのかなと。「今日この話でこ の方はこんな意見をしていた」とかも言った言わないではないです けれど、画面に出てこればわかりやすいのかなと思います。大変で すけれど。
事務局	ありがとうございます。また相談させてください。榎澤さんと三 輪さんはどうですか。
三輪氏	オンラインの形式でお願いします。
榎澤氏	お願いします。
事務局	ありがとうございます。最後、石田さんいかがですか。
石田氏	今のやり方でいいと思います。先ほど深田さんがおっしゃってい たみたいに、意見をまとめてもらうのもそうですし、こういう意見 を聞きたいというのも、もし可能であれば事前に「こういうことを 意見します」というのを教えてもらえると、今自分個人の意見を言 ったんですけど、もしかしたら他の方の意見も確認できたのかも しれないので、もし確認したいことがあって、質問しますというこ とを事前資料の中に入れていただけるといいのかなと思いました。
事務局	ありがとうございます。今回の4回目だけ資料を送るのが遅くな ってしまいましたが、通常は1週間前を目途に資料を送付してい て、送付をする時のメールに「こんな感じの流れで行きたいです」 とか「こういう意見がほしいです」とかをこれまでは伝えるように していましたが、差支えがなければその方法でさせていただきたい です。
石田氏	そうです。多分話の中で「こんな質問をします」というのがわか るとありがたいと思います。自分が本日代理で参加したので、今ま での経緯を知らなくて。
事務局	ありがとうございます。今回は遅くなって本当に申し訳なかった んですけど、次回以降も通常どおり1週間前を目途に資料送付は しようと思っています。資料送付は、原則電子データで送りたいと 考えています。メールで送付する時に「大体こんな議事になりま す。」「こういう意見が欲しい」と今までお送りしておりましたので、 差支えがなければ次年度以降もそういうような形でさせていただ

きたいと思います。またそのやり方についても御意見等があれば随時で大丈夫ですからいただければと思います。では最後まとめですけど、来年度以降の日程につきましては、資料の日程案の通りいきたいと思います。午後のお時間については、少し細かい調整をしてから皆さんのお伝えいたします。開催の形式につきましては、どちらかと迷うことがあるといけないので、オンライン、WEB形式にさせていただきます。資料は1週間前を目途に送付をさせていただくのと、メールで資料を送付させていただく際に議事について、「こんな意見が欲しい」とか「こういう会議にしたい」というのをメッセージにしてお送りするような形で、次年度行いたいと思います。また、このやり方ですとか新たなアイデアですとか、先ほど深田さんから御提案いただいた画面の共有のやり方も取り入れられそうなら次年度取り入れていこうと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。本日は皆さんから方法論のところをお聞きしたくてこういう時間を取らせていただきました。先ほども言いましたが、年度でメンバーを交代される方がみえましたら、3月の中旬から下旬までに長寿介護課 近藤か七里まで、メールでも大丈夫ですし、「変更します」とご連絡いただければと思っております。そうでなければ次回皆さまにお会いするのは5月30日の午後になりますので、引き続きの方はよろしくお願いいいたします。今日は少し早いですけれど、これで第4回地域包括ケア推進会議を終わりたいと思います。

成瀬事業管理者

みよし市民病院の成瀬です。次年度の問題で計画が出ていますけれど、今年度もコロナウイルスの感染の影響でいろんな会議が中止になっていますよね、そこをどうやっていくかをきちんと組み入れておいてください。そうしてできなかった場合はどうやって情報共有をするのかを。課題を市で抽出して、皆さんが困っていることを市は支援する形を取っていくことが1点。2点目はこうした形でオンライン方式でやらざる負えないですけど、我々みたいに組織に属している場合はまだ環境を整えることができますけれど、人によってはWi-Fi環境を整えない場合がありますので、その場合コミュニケーション方法として市が一時的にでも貸し出すとか、そういうことを考えていただかかないとその方だけがハイブリット方式で市役所で行うとかは良くないと思うので、その辺りの配慮をしていただけるとありがたいと思います。

事務局

ありがとうございます。今の点は次年度、本日はやり方の部分の御意見をいただける会にしたいと思っておりましたので、また来年度以降の検討材料としたいと思います。

翠氏

先ほど第4って言いましたが、5月は第5ですか。最終の月曜と

事務局	いうことでいいですか。
翠氏	そうですね。それでいつも組んでいました。
事務局	では第4ではないんですね。8月も第5だよね。  最後の週の月曜日です。ありがとうございます。最後の週の月曜日ということで訂正させていただきます。なので日程は今日資料2で出させていただいた日程の月曜日としたいと思います。その他はよろしいでしょうか。あればまた個別に連絡をいただけると助かります。ではまだ早いですけど終わりたいと思います。どうもありがとうございました。